

# 日本ウェルネス歯科衛生専門学校

## 平成 29 年度学校関係者評価委員会 報告書

学校法人タイケン学園 日本ウェルネス歯科衛生専門学校関係者評価委員会は、「平成 29 年度自己評価」の結果に基づいて学校関係者評価を実施したので、下記のとおり報告します。

1. 開催日時 平成 30 年 5 月 21 日 (月) 13:00~14:00
2. 場 所 日本ウェルネス歯科衛生専門学校 2 階 1 教室
3. 出席者

### 委員

松村 利恵	平成 25 年 3 月卒業生
辻本 恭久	日本大学松戸歯学部 診療教授
田中 入	朝霞歯科医院 院長
長谷 誠	ファイン矯正歯科 院長

### 事務局

前田 隆秀	日本ウェルネス歯科衛生専門学校 校長
大川 浩子	日本ウェルネス歯科衛生専門学校 事務長
田口 菜穂子	日本ウェルネス歯科衛生専門学校 教務課長
渡辺 節子	日本ウェルネス歯科衛生専門学校 教務主任
馬場 夏美	日本ウェルネス歯科衛生専門学校 教務

## 4. 議事

### 学校関係者評価委員会議事概要

事務局より、学校案内、学則、平成 29 年度自己評価報告書を配布の上、自己評価報告書内容に基づき説明し、評価・意見を聞いた。(進行：大川)

### ①教育理念・目標

学校案内やホームページに教育理念等を明示しており、学校説明会でも説明している。(大川)

### ②学校運営

学園の事業計画に基づき適切に学校運営している。教職員の研修等は学園の年間計画に基づき実施している。(大川)

### ③教育活動

教育活動は適切で評価できるが、臨床実習や就職後、高齢者に係わることも多くなるので、高齢者との関わり方を学ぶ機会を作っていくようにしてほしい。(松村)

この学校関係者評価委員会終了後に行う教育課程編成委員会でも提案されると思うが、教育課程編成委員の工藤先生より隣にできた老人施設と連携できるようにお願いするといいいのではないかと。また、小児歯科検診のお手伝いに参加させてもらえるよう、朝霞地区歯科医師会にお願いするとよいのではないかと、2 点の提案を頂いている。(大川)

机上での勉強だけでなく、実践することでより深く理解ができるので、話を進めていきたい。(田口)  
小児歯科検診について朝霞地区歯科医師会に話をしてみます。(田中)  
今年度から実施しているⅡ部の矯正歯科実習の成果、課題を次回会議で検討してほしい。(長谷)

#### ④学修成果

国家試験合格率の 100%については、大変評価すべき点である。退学者数についてはやむを得ない事情であることも多いが、基礎学力の低い学生が多くなると退学者が増えるので、学力にあったフォローを徹底してほしい。(辻本)  
今年度から定期試験後の解答解説等を行うようにしている。(田口)

#### ⑤学生支援

学生相談、経済的側面に対する支援体制も柔軟に対応しているが、心を病んでいる状態で入学する学生もいる。学校に入学してから勉強、人間関係で病む場合と違いフォローに限界を感じることもある。(馬場)  
このことについては入試方法を考える必要もあるので、要検討とする。(前田)

#### ⑥教育環境

施設・設備は整っている。また、危機管理体制も学園で規定されている。(大川)

#### ⑦学生の受け入れ募集

募集活動や入学選考は適切に行っているが、先ほどの学生支援でも話ができたが、入試方法は要検討とする。(大川)

#### ⑧財務

財務については全く問題がない。ホームページでも公開しており、常時閲覧可能になっている。(大川)

#### ⑨法令等の遵守

自己評価のとおり、適切に遵守されている。適宜、設置基準を確認している。(大川)

#### ⑩社会貢献・地域貢献

保育園や小学校での校外活動、歯科のイベントでは地域住民、近隣の福祉施設通所者等を招待している。(大川)

#### ⑪国際交流

学校法人の教育理念に「グローバルな人材育成」が掲げられており、留学生の受け入れもでき、学園の国際交流部と連携をとりながら進めている。  
平成 29 年度卒業生の一部は海外の歯科衛生士学校の見学に行っている。

#### 5. 全体総括

本日はお忙しい中お越しいただき、貴重なご意見を頂戴し感謝いたします。頂いたご意見を基に、さらに良い教育ができるようにしていきたいと考えております。  
今後も継続的に忌憚ない評価・意見をいただきますようお願いいたします。(前田)